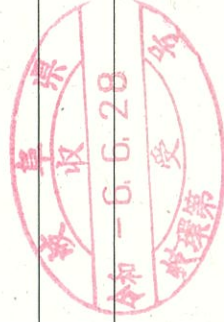


岐阜県 知事 殿		産業廃棄物処理計画書		2024年 6月 26日
提出者		住所 岐阜県各務原市蘇原東栄町2-133 氏名 株式会社パナホーム愛岐 代表取締役 小西 貴之 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 058-383-6245		
事業場の名称		株式会社パナホーム愛岐		
事業場の所在地		岐阜県各務原市蘇原東栄町2-133		
計画期間		2024/4/1~2025/3/31		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項				
①事業の種類		06 総合工事業		
②事業の規模		400,000万円		
③従業員数		80名		



	<p>④産業廃棄物の一連の処理の工程</p> <p>解体工事 がれき類（コンクリート塊）→再生処理業者に委託して、再生碎石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託して、チップ（合材用）として再資源化</p>
--	--

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
<div> <div>代表取締役社長</div> <div> <div> <div>本社 建設センター 課 長</div> <div> <div>本社 建設センター 事 務</div> </div> </div> <div> <div>高山営業所 建設課 課 長</div> </div> </div> </div>	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
【前年度（令和5年度）実績】																				
① 現状	産業廃棄物の種類																			
	排出量																			
	コンクリートがら	469.94 t	15.49 t	39.46t	廃プラスチック類	16.57 t	金属くず	11.34 t	木くず	180.75 t	繊維くず	1.25 t	ガラス・陶磁器くず	77.81 t	廃石膏ボード	10.24 t	混合廃棄物	127.47 t	紙くず	0.48t

	(これまでに実施した取組) (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・実寸発注の実施 (木くず) ・余剰材の引き取り (木くず)											
	【目標】											
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	廃石膏ボード	混合廃棄物	紙くず
②計画	排出量	450 t	10 t	40 t	15 t	10 t	150 t	1 t	70 t	10t	100 t	0.5 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取組を実施予定 ・ 梱包材の簡素化 (廃プラスチック類、木くず) ・ コニット化持ち込み (ガラスくず)											
産業廃棄物の分別に関する事項												
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ がれき類 (コンクリート塊、アスファルト塊)、木くずは分別するとともに、石膏含有産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施。											
②計画												

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
	【前年度 (令和 5 度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t
① 現状	(これまでに実施した取組)	

	【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組)	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組)	

[illegible]

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行った場合に際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

